

## 中小企業振興基本条例実践サミットにあたって

2025年11月19日

松山市中小企業振興円卓会議 座長 和田寿博

2025年の経済・社会情勢のもとで、中小企業・小規模企業が地域の主人公として活動すること、また産官学連携によって中小企業振興を図ることが求められています。2014年3月、松山市中小企業振興基本条例が公布され、基本条例に基づいて中小企業振興円卓会議は中小企業の実態の理解や中小企業支援策の検討、松山市は基本条例に基づいて中小企業の実態調査と中小企業振興計画の策定、中小企業支援策の実施などの実践を始めました。松山市の基本条例は制定当時、愛媛県中小企業家同友会などの中小企業経営者や商工・経済団体、金融機関関係者、学識経験者などが切望し、自ら学習を重ね、松山市地域経済課（現ふるさと納税・経営支援課）を相談相手として、民間主導で制定されました。松山市の基本条例の実践は、東京都墨田区、大阪府東大阪市や大東市、北海道帯広市や別海町などに学んだものであり、沖縄県那覇市や南風原町、福岡県田川市、広島県呉市、香川県丸亀市、奈良県広陵町、福島県福島市、宮城県仙台市など、全国の中小企業経営者や自治体職員、関係者と共に中小企業振興を目指してきました。

松山市の基本条例の実践は、推進組織として民間主導によって市行政から独立した中小企業振興円卓会議を設置し、年3回の会議を開催し、中小企業の実態の理解や中小企業支援策を検討してきました。また円卓会議のもとに専門部会を設置し、創業支援、人材育成、販路開拓、働き方改革など松山市の中小企業支援策に対する調査、検証、改善提案をしてきました。委員は子どもたちの職業観を育成する教材の開発、女性や育児をする保護者の働き方を検討するセミナーの開催、中小企業で働く若者や経営者の意識調査、中小企業の働く環境の整備や人材募集と育成、DX推進、松山しごと創造センターの発展などに取り組み、松山市の中小企業の活動の活性化や中小企業支援策が生まれました。

円卓会議は学習と交流に取り組み、2014年7月28日、愛媛大学を会場に、基本条例施行記念シンポジウムを開催し、植田浩史・慶應義塾大学教授から基本条例実践の目的・経験・教訓を学び、松山市、東温市の委員の代表が交流しました。2018年10月26日、愛媛大学を会場に、中小企業振興基本条例実践サミットを開催し、植田浩史・慶應義塾大学教授から他の自治体での基本条例実践を学び、松山市、東温市、那覇市、丸亀市、鳴門市で基本条例の実践を担う委員と産官学関係者が交流しました。2020年以降、コロナ禍期間にも松山市の基本条例の実践を継続し、中小企業の実態と中小企業支援策を提案しました。

松山市は2024年度に「松山市の中小企業の振興に向けた調査研究」をふまえた『中小企業振興計画』【第2期計画】を策定して中小企業振興に取り組み、円卓会議はこの取り組みに尽力しました。

2025年、中小企業は地域の主人公として役割を担うとともに、中小企業が抱える諸問題、例えば、人材確保と育成、ダイバーシティ経営、DX推進、起業・商品開発・販路拡大、金融と税、賃上げと公正取引、地域振興などに対処することが必要です。また中小企業を取り巻く経営環境、政府・自治体の政策の変化、円卓会議委員や事務局を担う市職員の交代、愛媛県内や全国での基本条例実践などが進んでおり、今一度、基本条例の原点に立ち返り、実践の総括と展望を図るため、円卓会議委員、事務局員、産官学関係者の交流が必要です。この度、中小企業振興基本条例実践サミットを開催し、(1)基本条例の実践の理解促進、(2)「松山市の中小企業の振興に向けた調査研究」と『中小企業振興計画』【第2期計画】の理解促進、(3)中小企業支援策についての意見収集と交流を行います。

松山市中小企業振興基本条例の実践によって、中小企業経営者や働く人、住民が「幸せになろう」を実感できるまちづくりを目指しましょう。松山市の中小企業振興の取り組みを日本と世界に伝えましょう。

## 【プログラム】

13：25 開会前 記念撮影

13：30～13：40 開会行事

総合司会 淵上悟（松山市中小企業振興基本条例円卓会議副座長）

開会挨拶 和田寿博（松山市中小企業振興基本条例円卓会議座長）

来賓挨拶 愛媛大学学長 仁科弘重 様

松山市長 野志克仁 様（代理：副市長 田淵雄一郎 様）

13：45～15：25 第1部 中小企業振興基本条例の実践と実態調査および振興計画

13：45～14：30

講師：植田 浩史（慶応大学教授）

演題：中小企業振興基本条例の実践

14：30～15：10

講師：山本 史門（一般財団法人地方自治研究機構調査研究部主任研究員）

演題：松山市の中小企業の振興に向けた調査研究

15：10～15：25

報告：松山市役所 産業経済部 ふるさと納税・経営支援課職員

演題：松山市中小企業振興計画（第2期）

15：30～16：15 第2部 分科会

15：30～16：10 分科会

\* 主題ごとに分科会で交流 \* 委員・事務局・講師・招聘者の分担（欠席を含む）

\* 出席 47 人 \* 愛大生（記録係）7 人 松大生（傍聴）20 人

①基本条例の理解と実践（事務局：近藤 助言：植田） 5 人

②中小企業の実態と振興計画（委員：政金公・伊藤 事務局：渡邊 助言：山本 東温市・氏部） 6 人

③円卓会議の活動（委員・座長：和田 愛信：白石 助言：東温市・関家） 3 人

④人材確保・育成（委員・副座長：淵上 愛ワク：寺尾 事務局：内山 助言：東温市・桑原） 5 人

⑤ダイバーシティ経営（委員：WLC・堀田 中央会：西山） 5 人

⑥DX 推進（委員：中小同友会・桑波田 伊予銀：松本） 4 人

⑦起業・商品開発・販路開拓（委員：商議所・戸嶋 事務局：正岡） 5 人

⑧金融と税（委員：愛媛銀：岡田 助言：米田 事務局：小西） 4 人

⑨賃金と公正取引（委員：松短大・黒田 助言：公取四国・清水） 4 人

⑩地域振興（委員：愛大・前田 北条商工会・伊藤 中島商工会・二宮） 6 人

16：10～16：25 分科会報告（分科会から選抜）

16：25～16：30 閉会行事

閉会挨拶：条例実践サミット宣言 和田寿博（松山市中小企業振興基本条例円卓会議座長）

16：30 懇談など

# 中小企業振興条例実践サミット 宣言

2025年11月19日

松山市中小企業振興円卓会議 座長 和田寿博

(1) 私たち中小企業振興基本条例実践サミットの参加者は、中小企業・小規模企業は地域経済と社会において重要な存在であり、中小企業振興基本条例の実践は中小企業・小規模企業、自治体や地域の発展の柱であることを確認しました。私たちは本日の学びを活かして中小企業振興基本条例の実践を担い、中小企業・小規模企業、自治体や地域の振興にいっそう貢献しましょう。

(2) 中小企業・小規模企業経営者、商工・経済団体、金融機関、支援機関、労働団体をはじめとする市民、諸パートならびに行政機関は、中小企業振興基本条例を柱に、中小企業・小規模企業の実態を調査し、『中小企業振興計画』を策定し、中小企業振興策を検討し、中小企業・小規模企業を振興しましょう。

(3) 中小企業振興基本条例の実践によって、中小企業・小規模企業経営者や働く人、住民が笑顔になり、「幸せになろう。松山市」を実感できる自治体づくりを目指しましょう。

(4) 松山市を中小企業・小規模企業が活躍する自治体、中小企業・小規模企業を振興する自治体として、日本と世界に伝えましょう。

以上

## 中小企業振興条例実践サミット 振り返り（サミット宣言に即して）

●宣言：参加者への自覚を促すものとして大変よかった。／松山市は中小企業を応援する街だということを表明でき意義深かった。／宣言に基づきこれからも委員の役割を遂行したい。／大事な理念が示されており、あとは地域、地域の中小企業がどのような強みを持っているのか、持てるのか、自治体がそれをどのようにソフト支援するのか（又はハード創出していくのか）だと思いました。

(1) 基本条例実践事例が分かりやすく、地域が活性化し良くなっている事が分かった。地域が活性化することの成果に繋がる条例をきめること、そして中小企業の経営者がそのことに対して役割をはたすこと、行政の役割、学校の役割、一緒になって大事と思った。／基本条例の実効性が問われている。個別具体的な地域課題に対応した仕組みづくりが求められている(円卓会議に経営者が参加する小グループの設置など)。／条例や計画からの実践が必要だ。

(2) 松山における事業所の現状と課題が理解できて今後の活動の参考になった。／国全体の広い範囲でなく、松山市の中小企業にフォーカスした調査研究結果は新鮮だ。／当市（松山市以外）でも現状把握調査をしたいが予算の都合があり調査方法などを参考にさせていただきたい。調査結果について当市と共通、相違があり興味深かった。当市とは規模が違うが基本施策や数値目標など参考になった。／新しい振興計画を作ることが目標になって実際に中小企業のためになっているのかとの指摘があり考えさせられた。座長と講演者と松山市職員が同じことを言っていることで分かり易さと安心感を得た。

(3) 第1部の説明、第2部への分科会へと行く繋がりが明確になった気がして良かった。／ざっくばらんな意見交流が出来て有意義な分科会となった。／時間が短かったが活発な意見が出た。実際の事業者がいたためより現実的な話が聞けてよかった。／松山市と当市の円卓会議委員の構成の違いなど参考になった。事業所としての参加と組織（所属団体）の代表として参加するのでは意見が変わってくるのだと感じた。／時間が短くもう少し議論ができればよかった。

(4) 松山市以外に拠点がある参加者が多数で新鮮な気づきがありました。計画の内容については良いが、松山らしさをもっと出しても良いのでは、と貴重な助言をいただけたので有意義でした。

●総論：こういう会議は初めてで新鮮でよかった。分科会はもう少し時間がとればより活発な意見交換が出来る。／原点に戻り改めて学び直すきっかけとなりよかった。／基本条例は何度となく聞く機会があったがよく理解していなかった、今回は理解する機会になり良かった。／定期的に開催して中小企業が主役の地域循環経済を作る起爆になっていけばよい。／回を重ねるほどに松山らしさがより見える、特徴的な取組、実践が見える会になれば素敵だと思う。振興計画もどんどん各論化が進むと良いと思う。

**【サミット 振り返りアンケート】 近日中に記入ください。**



入力フォーム：[https://docs.google.com/forms/d/1PhIkSj8m01S8Y84eGUoXA1WCskGaQgLvPRAMBp\\_5LF4/edit](https://docs.google.com/forms/d/1PhIkSj8m01S8Y84eGUoXA1WCskGaQgLvPRAMBp_5LF4/edit)

### 【参考文献・論文】

- 植田浩史 [2007] 『自治体の地域産業政策と中小企業振興基本条例』自治体研究社
- 和田寿博 [2019] 「2010年～2018年度の松山市中小企業振興基本条例の実践」『愛媛経済論集』38(2)  
和田寿博[2019] 「中小企業振興基本条例実践サミットの概要と課題」『愛媛経済論集』39(1)  
和田寿博[2019] 「コロナ禍以降の中小企業の経営実践と中小企業振興基本条例の実践」『愛媛経済論集』43(1)

### 【参考サイト】 検索キーワード

松山市中小企業 松山市中小企業対策事業 松山市中小企業振興円卓会議

一般財団法人地方自治研究機構 中小企業振興に関する条例

以上